LAN インターフェース設定ツール IPSet Version3.00 取扱説明書

発行日 2017年2月1日 Ver 1.01

タカヤ株式会社

マニュアル番号: TDR-MNL-IPSETV300-101

はじめに

このたびは、弊社製品をご利用いただき、誠にありがとうございます。 本製品を安全に正しくご使用いただくため、本書をよく読み、いつでも参照できるよう、手近な所に保 管してください。

IPSet バージョンアップ履歴

```
2013/02/21 v3.0.0.0
   [システム構成の変更]
    • Target Framework の変更(.NET Framework 2.0 \rightarrow 3.5)
    ・Platform Targetの変更(x86 → Any CPU)
   [動作 OS の追加]
    • Windows 8 Professional Edition 32bit
    • Windows 8 Professional Edition 64bit
    ・Windows 8.1 Professional Edition 32bit版(2017/2/1追記)
    • Windows 10 Pro 32bit版(2017/2/1追記)
    •Windows 10 Enterprise 32bit版(2017/2/1追記)
    •Windows 8.1 Professional Edition 64bit版 (2017/2/1追記)
    •Windows 10 Pro 64bit版(2017/2/1追記)
    •Windows 10 Enterprise 64bit版(2017/2/1追記)
2012/04/04 V2. 0. 0. 0
   [TR3XM シリーズ対応]
   TR3XM シリーズリーダライタ(工場出荷時 IP アドレス 192.168.0.1) への対応
2011/06/10 v1. 0. 2. 0
   [動作OSの追加]
   • Windows 7 Professional Edition 64bit
   • Windows 7 Enterprise Edition 64bit
   ※ただし、アプリケーションは32bitアプリケーションとして動作
2010/08/17 v1.0.1.0
   [不具合の修正]
   ・Windows7で動作させた場合にレイアウトが崩れる不具合を修正
2010/03/05 v1.0.0.0
   初版リリース
```

ソフトウエア使用許諾契約書

本契約は、お客様(個人・法人を問いません)とタカヤ株式会社との間の契約です。 お客様は、本ソフトウエアをコンピュータにインストールする、または複製する、またはコンピュータ にインストールされた本ソフトウエアを使用することで本契約に同意されたものとみなされます。 本契約に同意頂けない場合は、本製品(コンピュータプログラム、CD-ROM などの製品媒体、付帯ド キュメント、その他一切のもの)を当社あてにご返却下さい。また本ソフトウエアをネットワーク経由 でダウンロードして入手した場合は、入手したファイルをコンピュータから削除してください。

第1条 使用権の許諾

- 1)お客様は本契約への同意を前提にライセンス数に制限無く本ソフトウエアを使用することができます。
- 2) お客様は本契約書の添付を条件に本ソフトウエアを第三者に対し無償で配布することができます。

第2条 追加許諾条項

本ソフトウエアを定められた目的に従って使用した結果、作成された各種のファイルは、お客様の著作 物となります。

第3条 著作権

- 1) 本ソフトウエアに関する著作権、特許権、商標権、ノウハウおよびその他すべての知的財産権は、 当社に帰属することとします。
- 2) お客様は、本ソフトウエアに付された著作権表示等の注釈を削除または改変してはならないものと します。
- 3)本契約は、本契約に明示された場合を除き、本ソフトウエアに関する何らかの権利をお客様に許諾 あるいは譲渡するものではありません。

第4条 禁止事項

- 1) コンピュータプログラムのリバースエンジニアリング、逆コンパイルまたは逆アセンブルを行うこ と。また、これらの方法やその他の方法でソースコードの解読を試みること。
- 2) 本ソフトウエアの一部またはすべてを変更すること。また、二次的著作物を作成すること。
- 3) 本ソフトウエアの販売、営利目的での配布を行うこと。

第5条 無保証

- 1)当社は、本ソフトウエアがお客様の特定目的のために適当であること、有用であること、本ソフトウエアに瑕疵がないこと、その他本ソフトウエアに関していかなる保証もいたしません。
- 2)当社は、本ソフトウエアが第三者の知的財産権その他の権利を侵害していないことを一切保証しま せん。お客様は、お客様ご自身の判断と責任により本ソフトウエアをご使用になるものとします。
- 3) 本ソフトウエアや関連するすべての資料は、事前の通知なしに改良、変更することがあります。

第6条 免責

当社は、いかなる場合においても、本ソフトウエアの使用または使用不能から生ずるいかなる損害(事業利益の損害、事業の中断、事業情報の損失、またはその他金銭的損害)に関して、一切責任を負いません。

第7条 サポート

お客様が本ソフトウエアに関するサポートをご希望になる場合は、当社 RF 事業部までお問合せください。

連絡先 〒108-0074 東京都港区高輪 2-16-45 高輪中山ビル タカヤ株式会社 事業開発本部 RF 事業部 RF 営業部 E-MAIL: <u>rfid@takaya.co.jp</u>

第8条 契約の解除 お客様が本使用許諾契約に違反した場合、当社は本使用許諾契約を解除することができます。その場合、 お客様は本ソフトウエアの使用を中止し、プログラムをコンピュータからアンインストールし、本製品 を当社へ返却するものとします。また、本ソフトウエアをネットワーク経由でダウンロードして入手し た場合は、入手したファイルをコンピュータから削除してください。

(2013年2月版)



目次

第1章	セットアップ	1
1.1	動作環境	2
1.2	動作対象機器	3
1.3	インストーラの準備	4
1.4	インストール	5
第2章	起動と終了	9
2.1	起動する	10
2.2	終了する	11
第3章	リーダライタとの通信を開始する	12
3.1	PC の IP アドレスを変更する	13
3.2	ログイン画面	16
3.3	工場出荷時のリーダライタと通信を開始する	17
3.4	LAN インターフェース設定を変更する (→4 章)	20
3.5	設定変更後のリーダライタと通信を開始する	21
第4章	LAN インターフェース設定	24
4.1	工場出荷時設定一覧	25
4.2	設定一覧	26
4.3	基本設定	27
4.4	詳細設定	28
4.5	PING テスト	30
4.6	設定保存/復元	32
4.7	パスワード変更	35
4.8	初期化	37
変更履	歷	38



第1章 セットアップ

本章では、本ソフトウエアのセットアップ手順を説明します。

1.1 動作環境

セットアップを始める前に、お使いになっているパソコンの動作環境をご確認ください。 本ソフトウエアを快適にご利用いただくためには、以下の環境を満たしている必要があります。

CPU 周波数	:2.0 GHz 以上
メモリ容量	: 2.0 GB 以上
ディスプレイ解像度	:1024 x 768 以上
OS	: Windows XP Professional Edition 32bit 版 SP2 以上
	Windows Vista Business Edition 32bit 版 SP1 以上
	Windows 7 Professional Edition 32bit 版
	Windows 8 Professional Edition 32bit 版
	Windows 8.1 Professional Edition 32bit 版
	Windows 10 Pro 32bit 版
	Windows 10 Enterprise 32bit 版
	Windows 7 Professional Edition 64bit 版
	Windows 7 Enterprise Edition 64bit 版
	Windows 8 Professional Edition 64bit 版
	Windows 8.1 Professional Edition 64bit 版
	Windows 10 Pro 64bit 版
	Windows 10 Enterprise 64bit 版
.NET Framework	: Microsoft .NET Framework 3.5

また、本ソフトウエアには、外部ファイルからのデータ読み取りや外部ファイルへのデータ出力機 能が備えられています。それらの機能を利用する場合には、管理者権限を必要とする場合がありま すのでご注意ください。

1.2 動作対象機器

本ソフトウエアを使用して LAN 設定が可能な機器は以下の通りです。

- <動作対象機器>
- TR3-IF-N1
- TR3-N001E(B)
- TR3XM-SN01
- TR3-N001C-8
- TR3-MN001C-8
- TR3-MN001E-L/S
- TR3-LN003D-L/S
- TR3-LN003D-8
- TR3-LN003GW4LM-L
- TR3-G003
- ・TR3-G001B(販売終了品)
- ・TR3-G002 (販売終了品)

1.3 インストーラの準備

本ソフトウエアのインストーラをご準備ください。 インストーラは、WEB サイトからダウンロードすることができます。

● WEB サイト http://www.takaya.co.jp/products/rfid/manuals.htm

setup.exe ファイルをダブルクリックするとインストールウィザードが起動します。

1.4 インストール

- 1) 管理者権限のあるローカルユーザアカウントでログインしてください。
- 2) Windows で動作中のソフトウエアをすべて終了させてください。
- 3) setup.exe ファイルをダブルクリックするとインストールウィザードが起動します。 本ソフトウエアは、Microsoft .NET Framework 3.5(以降、フレームワーク 3.5)上で動作す るソフトウエアです。お使いのパソコンにフレームワーク 3.5 がインストールされていない場 合は、別途インストールが必要です。
- 4) 本ソフトウエアのセットアップウィザードです。
 [次へ]ボタンをクリックしてください。

명 IPSet v3.0.0.0 - InstallShi	eld Wizard
2	IPSet v3.0.0.0用のInstallShield ウィザードへようこそ
	InstallShield(R) ウィザードは、ご使用のコンピュータへ IPSet v3.0.0.0 をインストールします。「次へ」をクリックして、続行してく ださい。
	警告: このプログラムは、著作権法および国際協定によって保護 されています。
	< 戻る(B) 次へ(N) > キャンセル

5) ユーザ情報を入力してください。

🗒 IPSet v3.0.0.0 - InstallShield Wizard	
ユーザー情報 情報を入力してください。	
ユーザー名(U): takaya	
所禹(O): takaya	
InstallShield	
< 戻る(<u>B</u>) 次へ	(N) > キャンセル

6) 本ソフトウエアのインストールフォルダを選択してください。

既定のインストールフォルダは以下のとおりです。フォルダが存在しない場合は、自動的に作 成されます。

<u>C:\Program Files\Ppカヤ株式会社\TR3Software\IPSet v3.0.0.0\</u>

既定のインストールフォルダを変更する場合は、[変更]ボタンをクリックしてインストールフ オルダを選択してください。以降、本書では、既定のインストールフォルダにインストールさ れたこととして説明します。



7) インストールの準備が整いました。

[インストール]ボタンをクリックするとインストールが開始されます。

) - InstallShield Wizard					
ーー プログラムをインスト ウィザードは、イン	→ールする準備ができました ンストールを開始する準備ができました。					
インストールの設 リックすると、ウィー 現在の設定:	定を参照したり変更する場合は、「戻る」をクリックしてください。「キャンセル」をク ザードを終了します。					
セットアップ タイ:	ŷ:					
信学 インストール先フォルダ:						
C:#Program Files#タリウイ株式会社#TR3Software#IPSet V3.0.0.0# ユーザー情報: 名前: takaya 会社: takaya						
InstallShield	< 戻る(<u>B</u>) (アインストール(I) キャンセル					
谩 IPSet v3.0.0.0) - InstallShield Wizard					
週 IPSet v3.0.0.0 IPSet v3.0.0.0 選択したプログラ) - InstallShield Wizard をインストールしています 少仏機能をインストールしています。					
 ジ IPSet v3.0.0.0 IPSet v3.0.0.0 選択したプログラ ご 旅行 加ちな お待ち) - InstallShield Wizard をインストールしています らム機能をインストールしています。 IlShield ウィザードは、IPSet v3.0.0.0 をインストールしています。しばらく 5ください。					
 B IPSet v3.0.0.0 IPSet v3.0.0.0 選択したプログラ 選択したプログラ 新らび ステー 新しい 	 P. InstallShield Wizard をインストールしています 少ム機能をインストールしています。 IllShield ウィザードは、IPSet v3.0.0.0 をインストールしています。しばらく 5/ださい。 タス: ハファイルをコピーしています 					
 ジ IPSet v3.0.0.0 IPSet v3.0.0.0 選択したプログラ ご ジログラ ご ジログラ ご ジログラ ステー 新しい 	 P. InstallShield Wizard をインストールしています シム機能をインストールしています。 allShield ウィザードは、IPSet v3.0.0.0 をインストールしています。しばらく 5ください。 - ゆス: ハファイルをコピーしています 					
 iPSet v3.0.0.0 iPSet v3.0.0.0 違択したプログラ 違択したプログラ ふ行 ステー 新しい 	 P. InstallShield Wizard をインストールしています 少人機能をインストールしています。 allShield ウィザードは、IPSet v3.0.0.0 をインストールしています。しばらくちください。 -タス: ハファイルをコピーしています 					

InstallShield -

TAKAYA Corporation

< 戻る(B) 次へ(N) > キャンセル

インストールが終了しました。
 [閉じる]ボタンをクリックしてください。

🛃 IPSet v3.0.0.0 - InstallShi	eld Wizard 📃 💌
<u>ن</u>	InstallShield ウィザードを完了しました
	InstallShield ウィザードは、IPSet v3.0.0.0 を正常にインストー ルしました。「完了」をクリックして、ウィザードを終了してください。
2	
	< 戻る(<u>B</u>) 完了(F) キャンセル

9) デスクトップ上に本ソフトウエアのショートカットが作成されます。



10) プログラムメニューに本ソフトウエアのショートカットが作成されます。 [プログラム] – [TR3Software] – [IPSetV300]

第2章 起動と終了

本章では、本ソフトウエアの起動方法と終了方法を説明します。

2.1 起動する



デスクトップ上に作成されたショートカットアイコン^{IPSetV200}をダブルクリックすると「IPSet」 が起動します。

または、スタートメニューから[プログラム] – [TR3Software] – [IPSetV300]をクリックすると「IPSet」が起動します。

起動すると次の画面が表示されます。

v						
L)	ANTO	ゆーフ	エース設め	定		
10	16	77	170	ОК		
				Cancel		
✓ 工場出荷時のパスワードを利用する。 □ 工場出荷時のIPアドレスを利用する。						
● TR3シリーズ(10.16.77.170) ● TR3XMシリーズ(192.168.0.1)						
	、 10 ✓ 工場 ○ 工場	LANイン 10 16 ✓ 工場出荷時(● 工場出荷時(● TR3シリー ● TR3シリー	LANインターフ 10 16 77 10 16 77 ゴロ 16 77 ゴム場出荷時のパスワ ゴム場出荷時のIPアド ● TR3シリーズ(10.1) ● TR3ンリーズ(10.1)	LANインターフェース設 10 16 77 170 ✓ 工場出荷時のパスワードを利用す ● 工場出荷時のIPアドレスを利用す ● TR3シリーズ(10.16.77.170) ● TR3ンリーズ(192.168.0.1)		

2.2 終了する

メニューの[設定終了]をクリックすると「IPSet」が終了します。

LANConf					
	LANインターフェース設定				
MAG7KLZ	設定一覧				
00-03-D1-00-01-FA	設定内容	設定値			
	Local IP	10.16.77.170			
	Mask Address	16			
●設定一覧	Local Port	10777			
基本設定	Default Route IP	0.0.0.0			
<u> </u>	Keep Alive	有効			
詳細設定	無通信監視タイマ値(min)	1			
	Connection動作	アクティブ・オーブン			
10000000	Foreign IP	10.16.77.171			
<u>PINGテスト</u>	Foreign Port	3335			
設定保存/復元	通信速度	19200bps			
	TCP Send Timer(ms)	10			
バスワード変更	パッシブ・オーブン受付許可IP 01	0.0.0			
初期化	パッシブ・オープン受付許可IP 02	0.0.0			
	パッシブ・オープン受付許可IP 03	0.0.0			
	パッシブ・オープン受付許可IP 04	0.0.0			
	パッシブ・オープン受付許可IP 05	0.0.0			
	パッシブ・オーブン受付許可IP 06	0.0.0.0			
	パッシブ・オープン受付許可IP 07	0.0.0.0			
	パッシブ・オープン受付許可IP 08	0.0.0			
★ 設定終了					

第3章 リーダライタとの通信を開始する

本章では、リーダライタとの通信を開始する方法について説明します。

3.1 PCのIPアドレスを変更する

PC – リーダライタ間で TCP/IP 通信を行うためには、双方の端末同士で IP アドレスとサブネット マスクを通信可能な状態に設定しておくことが必要です

本項では、リーダライタの IP アドレスとサブネットマスクが以下の設定であるケースを例に、PC 側の設定変更手順を説明します。

リーダライタの IP アドレス: 10.16.77.170
 リーダライタのサブネットマスク: 255.255.0.0(マスク長:16 ビット)

1) ネットワーク接続画面を起動する

Windows のネットワーク接続画面を起動します。 ネットワーク接続画面は、マイネットワーク – [プロパティ]から起動します。



2) ローカルエリア接続のプロパティを開く

19	, MARINE MARINE	III Their control		構成	<u>C</u>)
の接続は次の項	目を使用しま	:ब(<u>O</u>):			
☑ ╦═Microso ☑ ╦═ネットワー	it TCP/IP ve クモニタドラ	ersion 6 イバ			-
⊠ क न्द्र1205-4 ≮]	ער דער דעי			J	>
インストール(ト)	やンインストー,		プロパティ	(<u>R</u>)
説明 伝送制御プロ ネットワーク間の ルです。	>コル/インタ→)通信を提供	-ネット プロト: する、既定の	コル。相互接 ワイド エリア	総売されたさま ネットワーク	ざまな プロトコ
」接続時に通知	領域にインジ	ケータを表示	≠る <u>₩</u>)		

3) インターネットプロトコル (TCP/IP) のプロパティを開く

(ンターネット プロトコル(TOP/IP)の	プロパティ				?
全般					
ネットワークでこの機能がサポートされてい きます。サポートされていない場合は、ネッ てください。	る場合は、IP トワーク管理者	設定を自 記道切	自動的 Dな IP	(2取得す 設定を問	ることがで れい合わせ
○ IP アドレスを自動的に取得する(@)					
 ③ 次の IP アドレスを使う(S) 					
IP アドレスΦ:	10	16	77	171	
サブネット マスク(山):	255	255	0	0	
デフォルト ゲートウェイ(型):					
○ DNS サーバーのアドレスを自動的()	- 取得する(<u>B</u>)				
┌──◎ 次の DNS サーバーのアドレスを使う	5(<u>E</u>):				
優先 DNS サーバー(P):					
代替 DNS サーバー(<u>A</u>):					
				詳細設	定⊻
	(C	K		キャンセル

 IPアドレスとサブネットマスクを入力する IPアドレス入力欄に「10.16.77.171」を入力します。

シネットマスクス力欄に「200.2	200.0.0」 を		ノより	0	
	J UNJ 1				
全般					
ネットワークでこの機能がサポートされてい	る場合は、IP	設定を見	動的	に取得す	ることがで
さます。リハートされているいの言は、不当	パンニク目注き	記述が	Wat IF (5RÆ 210.	10-6476
⌒™▽ビレコま白鉄約に那組まれの	Ň				
● IF アドレスを自動回転40179の10 - ● 55m IP マドレスを使う(S):	/				
IP 75220:	10	16	77	171	
サブネット マスク(山):	255	255	0	0	
デフォルト ゲートウェイ(の)・		200			
578M1 5 1711 @/					
○ DNS サーバーのアドレスを自動的(こ取得する(<u>B</u>)				
┌─③ 次の DNS サーバーのアドレスを使	う(<u>E</u>):				
優先 DNS サーバー(P):					
代替 DNS サーバー(<u>A</u>):					
L					
				詳細設	定(⊻)
	(0	K		たいけれ
	l		AK .		イヤノビル

[OK]ボタンをクリックすることで入力した設定値が反映されます。

▶ PC に IP アドレス「10.16.77.171」を割り当てた理由

IPv4 ネットワークでは、全 32 ビットの IP アドレスをネットワークアドレスとホストア ドレスに分割して管理しています。 同一のネットワークアドレスを持つ端末同士によって一つのネットワークが構成され、特 定のネットワーク内に属する端末同士は一意に割り当てられたホストアドレスによって 識別されます。

本項記載の設定例では、リーダライタのサブネットマスクを「255.255.0.0」と定義していますが、この定義は IP アドレスの前半 16 ビットをネットワークアドレス、後半 16 ビットをホストアドレスとすることを示しており、そのため前半 16 ビット(ネットワークアドレス)が等しく、且つ後半 16 ビット(ホストアドレス)が異なる「10.16.77.171」のIP アドレスを PC 側に割り当てています。

リーダライタの IP アドレス	10.16.77.170
PC の IP アドレス	10.16.77.171

3.2 ログイン画面

LANConfPs	w	×
	LANインターフェ	ース設定
IP7FVス:	10 16 77	170 OK
パスワード:	•••	Cancel
	□ 工場出荷時のパスワード □ 工場出荷時のIPアドレス	⁵ を利用する。 を利用する。
	 ● TR3シリーズ(10.16.7) ● TR3XMシリーズ(192. 	7.170) 168.0.1)

- IP アドレス リーダライタの IP アドレスを入力します。
- パスワード

リーダライタのパスワードを入力します。 本ソフトウエアは、Telnet を使用してリーダライタの LAN インターフェースへ接続します。 入力するパスワードは Telnet ログイン時のパスワードです。 工場出荷時の設定では「RAS」(大文字、3 文字)に設定されています。

● 工場出荷時のパスワードを利用する。 LAN インターフェース製品の工場出荷時に設定されているパスワード「RAS」(大文字、3 文 字)を使用する場合にチェックします。 本項目がチェックされている場合は、パスワード入力欄に入力された値は無視されます。

LANConfPs	w				×
	L,	ANTO	ターフ	ェース設	定
IPアドレス:	10	16	77	170	ОК
パスワード:	000				Cancel
	☑፲援	出荷時	DK27	- ドを利用	する。
	□ 工場	出荷時の	DIPアド	レスを利用	する。
	• T	R3シリー	ズ(10.16	6.77.170)	
	OT	R3XM5	リーズ(1	92.168.0.1)

- 工場出荷時の IP アドレスを利用する。 LAN インターフェース製品の工場出荷時に設定されている IP アドレス「10.16.77.170」を使用する場合にチェックします。 本項目がチェックされている場合は、IP アドレス入力欄に入力された値は無視されます。 ご使用の機種を選択します。
 - ・ TR3 シリーズ (10.16.77.170)
 - TR3XM シリーズ (192.168.0.1) ※TR3XM-SN01 が対象になります

3.3 工場出荷時のリーダライタと通信を開始する

工場出荷時のリーダライタ(IPアドレスとログインパスワードを工場出荷時から変更していないリ ーダライタ)と通信を行う場合には、次の画面のように入力して[OK]ボタンをクリックします。

工場出荷時の IP アドレスとログインパスワードは以下のとおりです。

<TR3 シリーズ> IP アドレス : 10.16.77.170 ログインパスワード : RAS (大文字、3 文字)

<TR3XM-SN01>

IP アドレス : 192.168.0.1 ログインパスワード : RAS (大文字、3 文字)

LANConfPs	w				l.	×
	L	ANTO	ターフ	ェース設	定	
IPアドレス:	10	16	77	170	ОК	
パスワード:	000	8			Cancel	
	 ✓ 工場出荷時のパスワードを利用する。 ✓ 工場出荷時のIPアドレスを利用する。 					
	т (©	R3シリー R3XMシ	ズ(10.1) リーズ(1	6.77.170) 92.168.0.1	,	

● IPアドレス

任意の IP アドレスを入力します。 [工場出荷時の IP アドレスを利用する]をチェックした場合、ここで入力された値は無視されま す。(どのような値を入力しても動作に変わりありません)

● パスワード

任意のパスワードを入力します。 [工場出荷時のパスワードを利用する]をチェックした場合、ここで入力された値は無視されます。 (どのような値を入力しても動作に変わりありません)

- 工場出荷時のパスワードを利用する チェックします。 工場出荷時のパスワード「RAS」(大文字、3文字)が適用されます。 パスワード入力欄に入力された値は無視されます。
- 工場出荷時の IP アドレスを利用する ご使用の機種を選択します。
 - ・ TR3 シリーズ (10.16.77.170)
 - TR3XM シリーズ(192.168.0.1) ※TR3XM-SN01 が対象になります

IP アドレス入力欄に入力された値は無視されます。

<TR3XM-SN01>

リーダライタとの通信が正常に開始された場合は、次の画面のように表示されます。

lConf		
	LANインターフェース設定	
МАС7КЬЗ	設定一覧	
0-03-D1-00-02-FA	設定内容	設定値
	Local IP	10.16.77.170
	Mask Address	16
●設定一覧	Local Port	10777
基本設定	Default Route IP	0.0.0
CAN AN EX AL	Keep Alive	有効
詳細設定	無通信監視タイマ値(min)	1
	Connection動作	パッシブ・オーブン
	Foreign IP	0.0.0
PINGテスト	Foreign Port	3335
設定保存/復元	通信速度	19200bps
100 C	TCP Send Timer(ms)	10
パスワード変更	パッシブ・オーブン受付許可IP 01	0.0.0.0
初期化	パッシブ・オープン受付許可IP 02	0.0.0.0
	パッシブ・オープン受付許可IP 03	0.0.0
	パッシブ・オーブン受付許可IP 04	0.0.0
	パッシブ・オーブン受付許可IP 05	0.0.0
	パッシブ・オーブン受付許可IP 06	0.0.0.0
	パッシブ・オーブン受付許可IP 07	0.0.0
	パッシブ・オーブン受付許可IP 08	0.0.0.0

40	設定一覧	
MACアドレス	設定内容	設定値
	Local IP	192.168.0.1
	Mask Address	24
●設定一覧	Local Port	9004
其大設定	Default Route IP	0.0.0
空中設定	Keep Alive	有効
詳細設定	無通信監視タイマ値(min)	1
	Connection動作	アクティブ・オープン
	Foreign IP	0.0.00
PINGテスト	Foreign Port	9004
保存/復元	通信速度	19200bps
	TCP Send Timer(ms)	10
スワート変更	パッシブ・オーブン受付許可IP 01	0.0.0.0
初期化	パッシブ・オープン受付許可IP 02	0.0.0
	パッシブ・オーブン受付許可IP 03	0.0.0.0
	パッシブ・オープン受付許可IP 04	0.0.0.0
	パッシブ・オープン受付許可IP 05	0.0.0.0
	パッシブ・オーブン受付許可IP 06	0.0.0.0
	パッシブ・オープン受付許可IP 07	0.0.0
	パッシブ・オープン受付許可IP 08	0.0.0

IP アドレスが間違っていた場合は、次の画面のように表示されます。



LANGont	×
	LANインターフェース設定
<u></u>	
<u>設定一覧</u> 基本設定 詳細設定	
<u>PINGテスト</u> 設定保存/復元 <u>パスワード変更</u> <u>初期化</u>	707 区 パスワードが間違っています。 OK
<u>設定終了</u>	

パスワードが間違っていた場合には、次の画面のように表示されます。

3.4 LAN インターフェース設定を変更する (→4 章)

4章を参照いただき、各種 LAN インターフェース設定(IP アドレス、ポート番号等)を変更します。

3.5 設定変更後のリーダライタと通信を開始する

IPアドレス、ログインパスワードを工場出荷時の値から変更したリーダライタと通信を行う場合には、次の画面のように入力して[OK]ボタンをクリックします。

リーダライタの IP アドレスとログインパスワードは以下のとおりとします。
 IP アドレス : 10.16.77.169
 ログインパスワード : RAS2 (RAS2 ヘパスワードを変更した場合)

LANConfPs	w	×
	LANインターフェー	ス設定
IPアドレス:	10 16 77 16	9 OK
パスワード:	••••	Cancel
	 工場出荷時のパスワードを 工場出荷時のIPアドレスを 	利用する。 利用する。
	 ● TR3シリーズ(10.16.77.1 ● TR3XMシリーズ(192.16 	70) 38.0.1)

- IP アドレス 「10.16.77.169」を入力します。
- パスワード 「RAS2」を入力します。
- 工場出荷時のパスワードを利用する チェックをはずします。
- 工場出荷時の IP アドレスを利用する
 チェックをはずします。

Image Provides 設定内容 設定値 P-03-D1-00-01-FA 協定内容 設定値 Local IP 10.16.77.169 Mask Address 16 ●設定一覧 Local Port 10777 基本設定 Default Route IP 0.0.00 Keep Alive 有効 無通信監視タイマ値(min) 1 Connection動作 パッジブ・オーブン Foreign IP 0.0.00 Foreign Port 3335 通信速度 19200bps TCP Send Timer (ms) 10 パッジブ・オーブン受付許可IP 01 0.0.00 パッジブ・オーブン受付許可IP 03 0.0.00 パッシブ・オーブン受付許可IP 04 0.0.00 パッジブ・オーブン受付許可IP 05 0.0.00 パッジブ・オーブン受付許可IP 07 0.0.00	MACTERIA	設定一覧	設定一覧			
Local IP 10.16.77.169 Mask Address 16 ●設定一覧 Local Port 10777 基本設定 Default Route IP 0.00.0 Keep Alive 有効 単細設定 無通信監視タイマ値(min) 1 Connection動作 パッシブ・オーブン Foreign IP 0.00.0 Foreign IP 0.00.0 アレのGテスト Foreign Port 3335 適信速度 19200bps TCP Send Timer (ms) 10 パメッジ・オープン受付許可IP 01 0.00.0 パッシブ・オープン受付許可IP 03 0.00.0 パッシブ・オープン受付許可IP 04 0.00.0 パッシブ・オープン受付許可IP 05 0.00.0 パッシブ・オープン受付許可IP 07 0.00.0 パッシブ・オープン受付許可IP 07 0.00.0	0-03-01-00-01-FA	設定内容	設定値			
Mask Address 16 ●設定一覧 Local Port 10777 基本設定 Default Route IP 000.0 送細設定 無通信監視タイマ値(min) 1 ごのnection動作 パッジブ・オーブン Foreign IP 000.0 方でeign Port 3335 通信速度 10 パスワード変更 バクジ・オーブン受付許可IP 01 0.000 が期化 パッジブ・オーブン受付許可IP 02 0.000 パッジブ・オーブン受付許可IP 03 0.000 パッジブ・オーブン受付許可IP 04 0.000 パッジブ・オーブン受付許可IP 05 0.000 パッジブ・オーブン受付許可IP 06 0.000 パッジブ・オーブン受付許可IP 07 0.000 パッジブ・オーブン受付許可IP 07 0.000		Local IP	10.16.77.169			
●設定一覧 Local Port 10777 基本設定 Default Route IP 0.000 接換設定 有効 有効 詳細設定 無通信監視タイマ値(min) 1 Connection動作 パッジブ・オーブン Foreign IP 0000 方でeign Port 3335 通信速度 19200bps TOP Send Timer(ms) 10 パッジブ・オーブン受付許可IP 01 0.000 パッジブ・オーブン受付許可IP 02 0.000 パッジブ・オーブン受付許可IP 03 0.000 パッジブ・オーブン受付許可IP 05 0.000 パッジブ・オーブン受付許可IP 06 0.000 パッジブ・オーブン受付許可IP 07 0.000 パッジブ・オーブン受付許可IP 07 0.000		Mask Address	16			
基本設定 Default Route IP 0000 Keep Alive 有効 推通設定 病通信監視タイマ値(min) 1 Connection動作 パッシブ・オーブン Foreign IP 0000 Foreign Port 3335 設定保存/復元 通信速度 19200bps パスワード変更 酒信速度 10 パッシブ・オープン受付許可IP 01 0000 10 パッシブ・オープン受付許可IP 02 0000 10 パッシブ・オープン受付許可IP 03 0000 10 パッシブ・オープン受付許可IP 04 0000 10 パッシブ・オープン受付許可IP 05 0000 10 パッシブ・オープン受付許可IP 06 0000 10 パッシブ・オープン受付許可IP 07 0000 10	● <u>設定一覧</u>	Local Port	10777			
法律部設定 Keep Alive 有効 詳細設定 無通信監視タイマ値(min) 1 Connection動作 パッシブ・オーブン Foreign IP 0.00.0 Foreign Port 3335 設定保存/復元 通信速度 19200bps パスワード変更 通信速度 10 パッシブ・オーブン受付許可IP 01 0.00.0 /パッシブ・オーブン受付許可IP 02 0.00.0 パッシブ・オーブン受付許可IP 03 0.00.0 パッシブ・オーブン受付許可IP 04 0.00.0 パッシブ・オーブン受付許可IP 05 0.00.0 パッシブ・オーブン受付許可IP 06 0.00.0 パッシブ・オーブン受付許可IP 07 0.00.0 パッシブ・オーブン受付許可IP 07 0.00.0	基本設定	Default Route IP	0.0.0			
詳細設定 無通信監視タイマ値(min) 1 Connection動作 パッシブ・オーブン Foreign IP 0.0.0 Foreign Port 3335 設定保存/復元 通信速度 19200bps TCP Send Timer(ms) 10 パッシブ・オーブン受付許可IP 01 0.0.00 パッシブ・オーブン受付許可IP 02 0.0.00 パッシブ・オーブン受付許可IP 04 0.0.00 パッシブ・オーブン受付許可IP 05 0.0.00 パッシブ・オーブン受付許可IP 06 0.0.00 パッシブ・オーブン受付許可IP 07 0.0.00	<u>48/49/68/JE</u>	Keep Alive	有効			
Connection動作 パッシブ・オーブン Foreign IP 0.0.00 Foreign Port 3335 設定保存/復元 通信速度 19200bps パスワード変更 TCP Send Timer(ms) 10 パッシブ・オーブン受付許可IP 01 0.0.00 初期化 パッシブ・オーブン受付許可IP 02 0.0.00 パッシブ・オーブン受付許可IP 03 0.0.00 パッシブ・オーブン受付許可IP 04 0.0.00 パッシブ・オーブン受付許可IP 05 0.0.00 パッシブ・オーブン受付許可IP 06 0.0.00 パッシブ・オーブン受付許可IP 07 0.0.00	詳細設定	無通信監視タイマ値(min)	1			
PINGテスト Foreign IP 0.0.00 Bib定保存/復元 Foreign Port 3335 逃信速度 19200bps プスワード変更 TCP Send Timer(ms) 10 パッシブ・オーブン受付許可IP 01 0.0.00 初期化 パッシブ・オーブン受付許可IP 02 0.0.00 パッシブ・オーブン受付許可IP 03 0.0.00 パッシブ・オーブン受付許可IP 04 0.0.00 パッシブ・オーブン受付許可IP 05 0.0.00 パッシブ・オーブン受付許可IP 06 0.0.00 パッシブ・オーブン受付許可IP 07 0.0.00 パッシブ・オーブン受付許可IP 07 0.0.00		Connection動作	パッシブ・オープン			
PINGテスト Foreign Port 3335 設定保存/復元 通信速度 19200bps パスワード変更 TOP Send Timer(ms) 10 パッシブ・オープン受付許可IP 01 0.00.0 初期化 パッシブ・オープン受付許可IP 02 0.0.00 パッシブ・オープン受付許可IP 03 0.0.00 パッシブ・オープン受付許可IP 04 0.0.00 パッシブ・オープン受付許可IP 05 0.0.00 パッシブ・オープン受付許可IP 06 0.0.00 パッシブ・オープン受付許可IP 07 0.0.00	the designed	Foreign IP	0.0.0			
設定保存/復元 通信速度 19200bps パスワード変更 TCP Send Timer(ms) 10 パッシブ・オーブン受付許可IP 01 0.0.00 初期化 パッシブ・オーブン受付許可IP 02 0.0.00 パッシブ・オーブン受付許可IP 03 0.0.00 パッシブ・オーブン受付許可IP 04 0.0.00 パッシブ・オーブン受付許可IP 05 0.0.00 パッシブ・オーブン受付許可IP 06 0.0.00 パッシブ・オーブン受付許可IP 07 0.0.00 パッシブ・オーブン受付許可IP 07 0.0.00	PINGTZE	Foreign Port	3335			
TCP Send Timer(ms) 10 パッシブ・オープン受付許可IP 01 0.0.00 初期化 パッシブ・オープン受付許可IP 02 0.0.00 パッシブ・オープン受付許可IP 03 0.0.00 パッシブ・オープン受付許可IP 04 0.0.00 パッシブ・オープン受付許可IP 05 0.0.00 パッシブ・オープン受付許可IP 05 0.0.00 パッシブ・オープン受付許可IP 06 0.0.00 パッシブ・オープン受付許可IP 07 0.0.00 パッシブ・オープン受付許可IP 08 0.0.00	設定保存/復元	通信速度	19200bps			
バッシブ・オープン受付許可IP 01 0.0.00 加期化 パッシブ・オープン受付許可IP 02 0.0.00 パッシブ・オープン受付許可IP 03 0.0.00 パッシブ・オープン受付許可IP 04 0.0.00 パッシブ・オープン受付許可IP 05 0.0.00 パッシブ・オープン受付許可IP 06 0.0.00 パッシブ・オープン受付許可IP 07 0.0.00 パッシブ・オープン受付許可IP 07 0.0.00		TCP Send Timer(ms)	10			
初期化 パッシブ・オーブン受付許可IP 02 00.00 パッシブ・オーブン受付許可IP 03 0.000 パッシブ・オーブン受付許可IP 04 0.000 パッシブ・オーブン受付許可IP 05 0.000 パッシブ・オーブン受付許可IP 06 0.000 パッシブ・オーブン受付許可IP 07 0.000 パッシブ・オーブン受付許可IP 07 0.000 パッシブ・オーブン受付許可IP 08 0.000	MAD-F&R	パッシブ・オーブン受付許可IP 01	0.0.0			
パッシブ・オープン受付許可IP 03 0.0.00 パッシブ・オープン受付許可IP 04 0.000 パッシブ・オープン受付許可IP 05 0.0.00 パッシブ・オープン受付許可IP 06 0.0.00 パッシブ・オープン受付許可IP 07 0.0.00 パッシブ・オープン受付許可IP 08 0.0.00	初期化	パッシブ・オーブン受付許可IP 02	0.0.0.0			
パッシブ・オープン受付許可IP 04 0.0.00 パッシブ・オープン受付許可IP 05 0.0.00 パッシブ・オープン受付許可IP 06 0.0.00 パッシブ・オープン受付許可IP 07 0.0.00 パッシブ・オープン受付許可IP 08 0.0.00		パッシブ・オーブン受付許可IP 03	0.0.0			
パッシブ・オープン受付許可IP 05 0.0.00 パッシブ・オープン受付許可IP 06 0.0.00 パッシブ・オープン受付許可IP 07 0.0.00 パッシブ・オープン受付許可IP 08 0.0.00		パッシブ・オーブン受付許可IP 04	0.0.0			
パッシブ・オーブン受付許可IP 06 0.0.0.0 パッシブ・オーブン受付許可IP 07 0.0.0.0 パッシブ・オーブン受付許可IP 08 0.0.0.0		パッシブ・オーブン受付許可IP 05	0.0.0			
パッシブ・オーブン受付許可IP 07 00.0.0 パッシブ・オーブン受付許可IP 08 0.0.0.0		パッシブ・オーブン受付許可IP 06	0.0.0			
パッシブ・オープン受付許可IP 08 0.0.0.0		パッシブ・オーブン受付許可IP 07	0.0.0			
		パッシブ・オープン受付許可IP 08	0.0.0			

リーダライタとの通信が正常に開始された場合は、次の画面のように表示されます。

IP アドレスが間違っていた場合は、次の画面のように表示されます。



ANGont	
	LANインターフェース設定
MACアドレス	
設定一覧	
<u>基本設定</u> 詳細設定	
E <u>PINGテスト</u> 設定保存/復元 パ <u>スワード変更</u> 初期化	ror 区 パスワードが間違っています。 OK
設定終了	

パスワードが間違っていた場合には、次の画面のように表示されます。

第4章 LAN インターフェース設定

本章では、LAN インターフェース設定方法について説明します。

4.1 工場出荷時設定一覧

工場出荷時には、LAN インターフェースの各設定値が下表のように設定されています。

Ne	LAN 売ウパラメーカ	出荷時設定値			
NO.	LAN設たハノメータ	TR3 シリーズ	TR3XM シリーズ		
1	Local IP(リーダライタ)	10.16.77.170	192.168.0.1		
2	Mask Address	$16\ (255.255.0.0)$	$24 \ (255.255.255.0)$		
3	Local Port	10777	9004		
4	Default Route IP	0.0.0.0	0.0.0.0		
5	Keep Alive	有効(1)	有効(1)		
6	無通信監視タイマ値(min)	1	1		
7	Connection 動作	アクティブ・オープン	アクティブ・オープン		
8	Foreign IP(上位機器)	10.16.77.171	0.0.0.0		
9	Foreign Port	3335	9004		
10	通信速度	19200	19200		
11	TCP Send Timer(ms)	10	10		
12	パッシブ・オープン受付許可 IP01	0.0.0.0	0.0.0.0		
13	パッシブ・オープン受付許可 IP02	0.0.0.0	0.0.0.0		
14	パッシブ・オープン受付許可 IP03	0.0.0.0	0.0.0.0		
15	パッシブ・オープン受付許可 IP04	0.0.0.0	0.0.0.0		
16	パッシブ・オープン受付許可 IP05	0.0.0.0	0.0.0.0		
17	パッシブ・オープン受付許可 IP06	0.0.0.0	0.0.0.0		
18	パッシブ・オープン受付許可 IP07	0.0.0.0	0.0.0.0		
19	パッシブ・オープン受付許可 IP08	0.0.0.0	0.0.0.0		

4.2 設定一覧

本ソフトウエアで変更可能な LAN インターフェース設定値が一覧表示されます。

	設定一覧	
<u></u>	設定内容	設定値
00-03-D1-00-02-FA	I cool TP	101677170
	Mack Address	16
▲設定→転	Local Port	10777
	Default Route IP	0.0.0
基本設定	Keep Alive	有効
詳細設定	無通信監視タイマ値(min)	1
	Connection動作	パッシブ・オープン
	Foreign IP	0.0.0
PINGTAL	Foreign Port	3335
設定保存/復元	通信速度	19200bps
	TCP Send Timer(ms)	10
パスワード変更	パッシブ・オーブン受付許可IP 01	0.0.0
初期化	パッシブ・オーブン受付許可IP 02	0.0.0
	パッシブ・オーブン受付許可IP 03	0.0.0
	パッシブ・オーブン受付許可IP 04	0.0.0
	パッシブ・オープン受付許可IP 05	0.0.0
	パッシブ・オーブン受付許可IP 06	0.0.0
	パッシブ・オーブン受付許可IP 07	0.0.0
	パッシブ・オーブン受付許可IP 08	0.0.0

4.3 基本設定

LAN インターフェースの基本情報を設定します。

	LANConf	N all	en set			6	
		LANインターフェース設定					
	MACアドレス	基本設定					
	00-03-D1-00-02-FA	Local IP:	10	16	77	170	
		Mask Address:		16 📚			
	設定一覧	Local Port:	1	0777 📚			
Q	●基本設定	Default Route IP:	0	0	0	0	
	詳細設定	Keep Alive:	0 #	俲	◎ 有	劾	
		相手側ホストとの接続が有効	ರಹ ತರಲೇ	を確認する	機能です	t.	
	PINGテスト	無通信監視タイマ値(min):		1 📚			
	設定保存/復元	Keep Alive機能の実行間隔で	. t .				
	<u>パスワード変更</u>					定	
	初期化						
	設定終了						
	Bodem						

各パラメータ値の変更内容は、[設定]ボタンをクリックすることで確定します。 各パラメータ値の変更後、[設定]ボタンをクリックせずに別画面(設定一覧、詳細設定など)を表示した場合は、変更内容が無効になります。

• Local IP

リーダライタ本体の IP アドレスを入力します。

Mask Address

リーダライタ本体の IP アドレスに対するサブネットマスク長を入力します。 入力可能な値の範囲は「0~31」です。

• Local Port

リーダライタ本体側のポート番号を入力します。 入力可能な値の範囲は「1024~65535」です。 このポート番号は、アクティブ・オープン時/パッシブ・オープン時に共通です。

Default Route IP

デフォルトゲートウェイの IP アドレスを入力します。

● Keep Alive 無通信状態が一定時間継続した場合に Keep パケットを送信する Keep Alive 機能を選択します。

無通信監視タイマ値(min)
 Keep Alive 機能を動作させる間隔を分単位で入力します。
 入力可能な値の範囲は「1~60」です。

4.4 詳細設定

LANインターフェースの詳細情報を設定します。

	MACTIKUZ	詳細語	没定				
- [MRC/FUX 00-03-D1-00-02-FA 設定一覧 基本設定 ●詳細設定 PINGテスト 設定保存/復元 パスワード変更 初期化	Conn ● パ ● ア F F 通信認 LAN TCP S TCP	ection動作 ッシブ・オープン クティブ・オープン oreign IP: oreign Port: 触度: インターフェースとり- Segmentの送信タ ジオープン受付許i	ホストが してコネ リーダラ して自動 0 -ダライタ: ・ イミングで 可IP	らり-ダン クションで イタからす う の の 33355 	5 イタのIPT を行います。 たストのIPT ネクションる 0 19200 い間の通信	Pドレスを指定 Pドレスを指定 行います。 0 Dbps ♥ 遠度です。 10 ♥ 編集
		IP01	0.0.0.0		IP05	0.0.0.0	
		IP02	0.0.00		IP06	0.0.0.0	
		IP03	0.0.00		IP07	0.0.0.0	
		IP04	0.0.0.0		IP08	0.0.0.0	

各パラメータ値の変更内容は、[設定]ボタンをクリックすることで確定します。 各パラメータ値の変更後、[設定]ボタンをクリックせずに別画面(設定一覧、基本設定など)を表示した場合は、変更内容が無効になります。

• Connection 動作

idle 状態時にアクティブ・オープンの試行をするかどうかを選択します。 本項目が「アクティブ・オープン」に設定された場合、TCP コネクションが開設されていない 状態においては Foreign IP・Foreign Port で指定された相手側ソケットに対して、TCP コネク ションのアクティブ・オープン試行を繰り返します。

• Foreign IP

アクティブ・オープンを行う際の相手側ホストの IP アドレスを入力します。

● Foreign Port アクティブ・オープンを行う際の相手側ホストのポート番号を入力します。 入力可能な値の範囲は「1024~65535」です。

● 通信速度

シリアルインターフェースのデータレートを選択します。

• TCP Send Timer(ms)

TCP セグメントの送信タイミングをミリ秒単位で入力します。 入力可能な値の範囲は「1~100」です。 シリアルインターフェースから最後のデータが入力された時点から、本設定時間が経過したタ イミングにて TCP セグメントの送信が実行されます。

● パッシブオープン受付許可 IP パッシブ・オープンを許可する相手側ホストの IP アドレスを入力します。

IP01~IP08 までの設定すべてが「0.0.0.0」の場合、すべての IP アドレスからのパッシブ・オープンを許可します。 それ以外の場合、IP01~IP08 に設定した「0.0.0.0」以外の IP からのパッシブ・オープンのみ を許可します。

IP01~IP08のいずれかに「255.255.255」を設定し、それ以外のすべてに「0.0.0.0」を設定した場合、すべてのパッシブ・オープンを拒否します。

[編集]ボタンをクリックすると次のような画面が起動します。

パッシブ・オーブン受付許可IP 01:	0	0	0	0] [消去
パッシブ・オーブン受付許可IP 02:	0	0	0	0	[消去
パッシブ・オーブン受付許可IP 03:	0	0	0	0] 消去
パッシブ・オーブン受付許可IP 04:	0	0	0	0	消去
パッシブ・オーブン受付許可IP 05:	0	0	0	0] [消去
パッシブ・オープン受付許可IP 06:	0	0	0	0	消去
パッシブ・オープン受付許可IP 07:	0	0	0	0	消去
パッシブ・オープン受付許可IP 08:	0	0	0	0	消去

パッシブ・オープンの受付を許可する IP アドレスを入力します。 [OK]ボタンをクリックすると入力が完了します。

[消去]ボタンをクリックするとボタン左側入力欄の値が「0.0.0.0」に初期化されます。

4.5 PING テスト

Foreign IP に設定された IP アドレスの割り当てられた端末に対して、ping によるネットワークの 疎通確認を実施する機能です。



[実行]ボタンをクリックすると ping による疎通確認が実行されます。

次の画面は、10.16.77.171の割り当てられた端末に対して、pingによるネットワークの疎通確認を 行った様子を示します。

LANConf	
	LANインターフェース設定
MACアドレス	PING TAL
00-03-D1-00-02-FA	Foreign IP: 10 16 77 171 Pingの送信先は、Foreign IPの設定値となります。
設定一覧	実行
基本設定	/*** ping 10.16.77.171 ***/ ping
詳細設定	Reply from 10.16.77.171 Reply from 10.16.77.171 Reply from 10.16.77.171 Reply from 10.16.77.171
● PINGテスト	
設定保存/復元	
<u>パスワード変更</u>	
<u> 初期代上</u>	
設定終了	

4.6 設定保存/復元

LAN インターフェース設定値をテキストファイルに保存します。(バックアップ) または、テキストファイルに保存された LAN インターフェース設定値を復元します。(リストア)

LANConf		×
	LANインターフェース設定	
MACアドレス	設定保存/復元	
00-03-D1-00-02-FA	設定の保存	
	現在の設定値をファイルに保存します。	
設定一覧		設定保存
基本設定		
詳細設定	<u>設定の復元</u> - (n/c/()友さわた恐穴/(また)ます	
	リアイルに1米1子された設定1世を1号元しより。	
PING TAL		設定18元
● <u>設定保存/復元</u>		
パスワード変更		
初期化		
設定終了		
	2	

※ 注意事項

設定復元は、必ず本ソフトウエアの設定保存機能によって出力されたテキストファイルを利用 してください。

また、設定保存機能によって出力されたテキストファイルの内容をテキストエディタ等で編集 することは絶対にしないでください。 ● 設定保存(バックアップ) 現在の LAN インターフェース設定値をテキストファイルに保存します。

[設定保存]ボタンをクリックすると次の画面が表示されます。

保存先のファイルを	選択してください					? 🛛
保存する場所型:	😂 work		~	000		
していた 最近使ったファイル						
ごうしょう デスクトップ						
ک ۱۰۷۶ ۲۶						
ער דאר אד אר בארב אד						
S						
マイ ネットワーク	ファイル名(N):	default.tr3lan			<u>~</u> [保存(<u>S</u>)
	ファイルの種類(工):	TR3設定ファイル(*.tr3lan)			~	キャンセル

保存先のフォルダ、ファイル名を入力して[保存]ボタンをクリックします。 保存に成功すると次の確認メッセージが表示されます。

Informa	tion 🔀
(į)	設定値を保存しました。
(ОК

● 設定復元(リストア)

テキストファイルに保存された LAN インターフェース設定値を復元します。 必ず本ソフトウエアの設定保存機能によって出力されたテキストファイルを利用してください。

復元処理を実行すると現在のLAN インターフェース設定値は上書きされます。 事前に現在の設定値を保存しておくことをお奨めします。

[設定復元]ボタンをクリックすると次の画面が表示されます。

復元元のファイルを	選択してください					? 🛛
ファイルの場所型:	🚞 work		~	00	🖻 🛄 •	
していた 最近使ったファイル	🗃 default.tr3lan					
ごう デスクトップ						
אנאנדאין אד						
ארבאנב אד						
マイ ネットワーク	ファイル名(<u>N</u>):	default.tr3lan			*	開((())
	ファイルの種類(工):	TR3設定ファイル(*.tr3lan)			~	キャンセル

復元元のファイルを選択して[開く]ボタンをクリックします。 復元が成功すると次の確認メッセージが表示されます。

Informa	tion 🛛 🔀
(į)	設定値を復元しました。
(OK

4.7 パスワード変更

ログインパスワードを変更します。

LANConf	
	LAN1フターフェース設定
MACアドレス	パスワード変更
00-03-D1-00-02-FA	ログインパスワードを変更します。
	変更後は再接続が必要です。
設定一覧	現在のパフロード・
基本設定	
詳細設定	パスワード変更:
DT 700 BA75	パスワード変更(確認用):
11000000000	7.6
PINGTZE	2.E
設定保存/復元	
●パスワード変更	
初期化	
設定終了	
	<u>MACアドレス</u> 00-03-D1-00-02-FA 設定一覧 基本設定 詳細設定 PINGテスト 設定保存/復元 ①期化 辺期化

パスワードの変更は、[変更]ボタンをクリックすることで確定します。

[変更]ボタンをクリックせずに別画面(設定一覧、基本設定など)を表示した場合は、変更内容が無効になります。

現在のパスワード
 現在のパスワードを入力します。
 現在のパスワードが誤っている場合には、次の画面が表示されます。
 Warning
 現在のパスワードが問違っています。

現在のバスワードが間違っています。
OK

● パスワード変更

変更後のパスワードを入力します。 パスワードに空文字(パスワードなし)を設定することはできません。 本フィールドに入力がない場合は、次の画面が表示されます。

Warning	
⚠	パスワードに空文字を設定することはできません。
	OK

● パスワード変更(確認用)

パスワード変更入力欄への入力値と同じ値を入力します。

パスワード変更入力欄への入力値と異なる値が入力されている場合は、次の画面表示されます。

Warning	
⚠	変更パスワードと変更確認用パスワードが異なっています。

[変更]ボタンをクリックすると次の確認画面が表示されます。

Information 🛛 🔀		
(j)	ログインパスワード	を変更します。
	OK 🛉	ンセル

[OK]ボタンをクリックするとパスワードが変更されます。 [キャンセル]ボタンをクリックすると何も処理を行いません。

パスワードの変更後は、本ソフトウエアを再起動することが必要です。 本ソフトウエアは、パスワードの変更が行われると自動的に終了します。

4.8 初期化

LAN インターフェースの設定値を工場出荷時の値へ初期化します。 ログインパスワードも初期化されます。

工場出荷時の設定値は「4.1 工場出荷時設定一覧」を参照ください。

	LANConf	×
		LANインターフェース設定
	масрких	初期化
	00-03-D1-00-01-FA	LANインターフェース設定値を工場出荷時の値に初期化します。 IPアドレス、ログインパスワードも工場出荷時の値に初期化され
	設定一覧	る為、初期化復は再接続加必要です。
	基本設定	初期化対象リーダライタ ● TR3シリーズ(10.16.77.170)
	詳細設定	○ TR3XMシリーズ(192.168.0.1)
	<u>PINGテスト</u> 設定保存/復元 <u>パスワード変更</u>	● 初期化
★ [●初期化	ן דער
	<u>設定終了</u>	

接続されている機種(TR3シリーズ、TR3XM-SN01)を選択し、[初期化]ボタンをクリックすると 次の画面が表示されます。



[OK]ボタンをクリックすると初期化処理が実行されます。 [キャンセル]ボタンをクリックすると何も処理を行いません。

初期化処理が完了すると次の画面が表示されます。

Informat	tion 🔀
(į)	設定値を更新しました。 再接続を実施ください。
(OK

初期化処理完了後は、本ソフトウエアを再起動することが必要です。 本ソフトウエアは、初期化処理が完了すると自動的に終了します。



Ver No	日付	内容
1.00	2013/2/21	新規作成
1.01	2017/2/1	動作 OS 追記
		1.2 動作対象機器 追記

タカヤ株式会社 事業開発本部 RF 事業部 [URL] http://www.takaya.co.jp/ [Mail] rfid@takaya.co.jp

仕様については、改良のため予告なく変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。